

令和3年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(令和3年11月末時点)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(令和3年11月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	11月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)					1 (1)	1 (2)
	2. 負傷事故	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	3 (2)	2 (3)					24 (25)	24 (43)
	合計	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	4 (3)	2 (3)					25 (26)	25 (45)
	累計	4 (4)	5 (6)	9 (8)	10 (13)	18 (18)	19 (20)	23 (23)	25 (26)					-	-
工事	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (0)					4 (6)	4 (7)
	2. 負傷事故	8 (0)	5 (7)	5 (5)	1 (7)	6 (9)	13 (11)	6 (9)	8 (14)					52 (62)	52 (109)
	合計	8 (2)	5 (8)	6 (5)	1 (8)	7 (11)	13 (11)	7 (9)	9 (14)					56 (68)	56 (116)
	累計	8 (2)	13 (10)	19 (15)	20 (23)	27 (34)	40 (45)	47 (54)	56 (68)					-	-
合計	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (0)					5 (7)	5 (9)
	2. 負傷事故	12 (4)	6 (9)	9 (7)	2 (12)	14 (14)	14 (13)	9 (11)	10 (17)					76 (87)	76 (152)
	合計	12 (6)	6 (10)	10 (7)	2 (13)	15 (16)	14 (13)	11 (12)	11 (17)					81 (94)	81 (161)
	累計	12 (6)	18 (16)	28 (23)	30 (36)	45 (52)	59 (65)	70 (77)	81 (94)					-	-

※下段()書きは前年度(令和2年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(令和3年11月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
事業主体	1. 都道府県	1	0	1	0	3	0	1	1					7	12
	2. 政令市	2	0	1	1	2	1	2	1					10	9
	3. 一般市	0	1	2	0	3	0	1	0					7	22
	4. 町村	1	0	0	0	0	0	0	0					1	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2					25	45
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	1	0	0					1	2
	2. マンホール	1	0	0	0	1	0	1	0					3	6
	3. 処理場	2	1	4	0	6	0	3	2					18	24
	4. ポンプ場	0	0	0	1	1	0	0	0					2	8
	5. その他	1	0	0	0	0	0	0	0					1	5
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2					25	45
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	1	0					1	2
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0					1	0
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
	負傷事故	4	1	4	1	8	1	3	2					24	43
	1. 墜落・転落	1	1	1	0	1	1	0	0					5	16
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	1	1	3	0	1	2					9	12
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	2	0	0	0	0	0					2	1
	5. 転倒	1	0	0	0	2	0	1	0					4	3
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0					0	2
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1	
12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0					0	2	
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	
14. その他	1	0	0	0	2	0	1	0					4	4	
合計	4	1	4	1	8	1	4	2					25	45	
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	0	0	0	0	1	0					2	3
	2. 委託先業者	3	1	4	1	8	1	3	2					23	47
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	0					0	2
	合計(人)	4	1	4	1	8	1	4	2					25	52
	累計	4	5	9	10	18	19	23	25					-	-

令和2年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	2. 委託先業者	3	2	1	3	10	2	4	4	4	6	4	4	47
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	合計(人)	4	2	2	5	10	2	4	4	5	6	4	4	52
	累計	4	6	8	13	23	25	29	33	38	44	48	52	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

令和3年11月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
11月											
1	R3.11.1	2. 政令市	処理場	②負傷事故	②はさまれ・巻き込まれ	下水処理場のポンプ棟において、機械スクリーンの洗浄を行うために点検扉を勢いよく開けてしまい、扉と本体の間に右手薬指を挟み負傷した。	・点検時の扉をゆっくり開閉する ・点検前に危険予知のイメージを意識する ・焦って作業は行わない(特に忙中時)	委託先業者	57	男	右手薬指第1関節切創
2	R3.11.17	1. 都道府県	処理場	②負傷事故	②はさまれ・巻き込まれ	汚泥移送配管の継手部から汚泥が漏れていたため、作業員が配管サポートに左足をかけて配管の補修作業を行っていたところ、配管継手部のネジが緩んでいたことにより配管が外れてしまい、配管と配管サポートの間に作業員の左足が挟まれ負傷した。	・配管の落下防止のための仮設サポートを設置する等安全対策を行う ・挟み込み発生箇所等を十分に考慮し、作業計画を立てて実施する	委託先業者	44	男	左足アキレス腱上部皮膚下筋肉損傷

: 死亡事故
 : 負傷事故
 : 物損事故

3.事故発生状況(工事) (令和3年11月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
事業主体	1. 都道府県	0	1	1	1	2	2	1	0					8	6
	2. 政令市	6	3	4	4	9	9	3	0					38	60
	3. 一般市	4	2	2	0	2	7	3	11					31	71
	4. 町村	0	0	2	0	0	0	0	0					2	11
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1	1
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11					80	149
工事分類	1. 管きょ開削	6	2	8	4	7	12	6	6					51	93
	2. 管きょ推進	1	2	0	0	0	2	0	2					7	19
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1					1	2
	4. 管きょその他	2	1	1	0	1	0	1	2					8	10
	5. 処ポ土木建築	1	1	0	0	2	1	0	0					5	15
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	3	1	0					5	8
	7. 処ポその他	0	0	0	1	2	0	0	0					3	2
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11					80	149
事故類型	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	4	0	1					7	18
	2. はさまれ・巻き込まれ	3	4	3	0	1	4	4	0					19	30
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	1	0	0					1	7
	4. 切れ・こすれ	1	1	1	0	1	0	0	0					4	4
	5. 転倒	1	0	0	0	1	0	0	2					4	4
	6. 激突	1	0	0	0	0	0	0	0					1	13
	7. 土砂崩壊	1	0	0	0	1	1	0	1					4	11
	8. 交通事故	0	0	1	0	0	1	0	1					3	2
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	0	1	3	2					6	15
	12-2. 公衆災害(物損)	2	1	3	4	6	5	1	2					24	38
	13. 作業車両の横転	0	0	1	0	0	0	0	0					1	1
14. その他	1	0	0	0	2	1	0	2					6	6	
合計	10	6	9	5	13	18	8	11					80	149	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	0	1	0	1	1					4	7
	2. 重傷(全治1ヶ月以上)	7	4	5	1	4	11	3	4					39	83
	3. 軽傷(全治1ヶ月未満)	1	1	0	0	2	2	3	4					13	26
	合計(人)	8	5	6	1	7	13	7	9					56	116
	累計	8	13	19	20	27	40	47	56					-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0

令和2年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	2. 重傷	0	4	4	6	8	6	8	13	12	7	11	4	83
	3. 軽傷	0	3	1	1	1	5	1	1	6	3	3	1	26
	合計(人)	2	8	5	8	11	11	9	14	18	10	14	6	116
	累計	2	10	15	23	34	45	54	68	86	96	110	116	-
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

令和3年11月末時点

NO.	発生年月日							被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
11月										
1	R3.11.2	3.一般市	3.管きょシールド	その他	配管設置作業時、発進基地内の足場上にて、バランスを崩して転倒し、足場上のジョイントピンに左脇部分を強打し負傷した。	現場内	5.転倒	59	男	肋骨骨折 (全治1ヶ月以上)
2	R3.11.5	3.一般市	1.管きょ開削	土留め工	作業員が掘山の中で管路布設作業を行っていたところ、軽量鋼矢板土留めの建込時に地山が崩壊し、負傷した。	現場内	7.土砂崩壊	34	男	肋骨骨折 (全治1ヶ月以上)
3	R3.11.10	3.一般市	1.管きょ開削	ボーリング工	推進工法における薬液注入工事に伴い、ボーリング調査を行っていたところ、信号に電気を供給する埋設電線を切断した。着手前、道路上に電線の位置出しを行ったが、実際の埋設位置とは異なっていた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	信号機の電線切断
4	R3.11.19	3.一般市	1.管きょ開削	その他	鋼矢板土留の機械入替のため、地上にてケーシングを解体中、ボルトを緩めようとした際に、後方に体のバランスを崩して転倒し、負傷した。	現場内	5.転倒	31	男	右足首脱臼骨折 (全治1ヶ月未満)
5	R3.11.19	3.一般市	1.管きょ開削	その他	管路布設替えに伴い、市道を全面通行止めしていたところ、歩行者が迂回路に設置していた敷鉄板の段差につまづき転倒し、左手首を強打して骨折した。	現場内	12-1.公衆災害(人身)	88	女	左手首骨折 (全治1ヶ月以上)
6	R3.11.19	3.一般市	4.管きょその他	管更生工	下水道管更生工事での加熱硬化工程において、作業員が作業のためマンホール内に降りた際に、蒸気を発生させる機械とホースをつなぐ金具の締め付け具合が緩かったためホースが外れ、そこから高温蒸気が漏れ、作業員が火傷を負った。	現場内	14.その他	41	男	顔面及び体幹、 右前腕 2度熱傷 (全治1ヶ月未満)
7	R3.11.25	3.一般市	1.管きょ開削	その他	歩行者が歩行者用通路とは異なる通路を通行しようとした際に、交通誘導員は持ち場を離れられなかったため、誘導をせず通行させたところ、歩行者が通路に置いてあった建設資機材(レーキ)につまづき転倒し、負傷した。	現場内	12-1.公衆災害(人身)	73	女	左眼窩底骨折 右膝蓋骨骨折 (全治1ヶ月以上)
8	R3.11.27	3.一般市	2.管きょ推進	岩盤掘削	人力岩盤掘削時、削岩機先端がはつり箇所から滑り、右足に接触し負傷した。	現場内	14.その他	52	男	右第2中足骨解放骨折 (全治1ヶ月未満)
9	R3.11.29	3.一般市	1.管きょ開削	排水管撤去	既設雑排水取付管の撤去作業時、硬い層が出てきたため電動ブレードで取り壊していたところ、コンクリートに巻き込まれているガス管を破損させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス管(Φ50)破損
10	R3.11.30	3.一般市	4.管きょその他	足場組立	作業員3名が水管橋耐震補強工事のため、張出足場の手すり(単管)の設置作業に取りかかっていたところ、1名が身体のバランスを崩し、川側に倒れ、2名が単管ごと約5.5m下の川へ墜落し、うち1名が死亡した。	現場内	1.墜落・転落	41	男	死亡
11	R3.11.30	3.一般市	2.管きょ推進	交通誘導	片側交互通行により工事区間を規制していた際に、一般車両が対向車通過待ちのため停止していた前方の車両2台を追い越し、対向車線を走行したところ、対向車に気付き、停止していた2台の車両前方へ急に入り込んだため、近くには交通誘導員に衝突した。	現場内	8.交通事故	58	男	頭部裂傷 (全治1ヶ月未満)

 :死亡事故 :負傷事故 :物損事故

令和3年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(令和3年11月末時点)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況

(令和3年11月末時点)

[総括]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)					28 (50)
累計	2 (9)	5 (12)	6 (18)	8 (21)	13 (26)	19 (28)	26 (30)	28 (35)					-

(単位:件)

[内訳]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 都道府県	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	2 (2)	1 (0)					5 (15)
2. 政令市	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (3)					10 (8)
3. 一般市	2 (6)	1 (2)	1 (4)	1 (1)	2 (4)	3 (0)	2 (0)	1 (2)					13 (24)
4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (3)
5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)					28 (50)
1. 管渠	2 (5)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (1)					11 (15)
2. マンホール	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (2)					7 (10)
3. 処理場	0 (3)	0 (2)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	2 (1)	1 (1)					5 (14)
4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)					3 (5)
5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)					2 (6)
合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)					28 (50)
1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (3)	1 (3)	0 (5)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (4)					7 (25)
2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (1)					7 (7)
3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (4)	1 (0)	0 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (1)	3 (0)	2 (0)					14 (18)
合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)					28 (50)
① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (2)
② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (3)
③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (2)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)					4 (7)
④ 雨水管からの悪質下水の流出	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (1)					5 (5)
⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (5)	0 (1)	1 (2)	1 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (2)					10 (22)
⑥ その他事故(①~⑤以外の事故)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)					3 (1)
水質事故 合計	2 (9)	1 (2)	1 (4)	2 (2)	5 (4)	4 (2)	6 (2)	1 (3)					22 (40)
その他案件	0 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)					6 (10)
水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)					28 (50)
① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (2)					2 (5)
② 耐用年数以内	1 (0)	2 (1)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)					10 (13)
③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
合計	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	4 (1)	4 (2)	0 (3)					12 (18)

(単位:件)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和2年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和3年11月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応
11月						
1	R3.11.16	3.一般市	その他	その他案件	—	<p>池への処理水放流を停止し下水道管理者、県出先機関(環境部局・農業部局)、維持管理業者にて現場調査を行った。</p> <p>下水道管理者にて簡易な放流水の水質検査を行ったが水質検査数値に異常はなく、処理場自体の水処理状況にも微生物にも影響が見られなかったため処理場からの放流は通常通り継続した。</p> <p>県保健所にサンプル水の検査依頼を行い現場対応を終了した。保健所からの検査結果でも水質に異常はみられず原因は不明。</p>
2	R3.11.22	1.都道府県	処理場	水質事故	<p>③悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合</p> <p>一時的な大雨の影響による流入水の増加から流入負荷変動が生じたが、水処理の各系列への分配比率の変更等の調整が遅れてしまい、硝化脱窒不足となり、全窒素が計画放流水質基準を超過した。</p> <p>※放流水全窒素(日間平均) 10.1mg/L 計画放流水基準(日間平均)=10mg/L</p>	<p>水処理の各系列への分配比率や1系反応槽各槽の流入比率等を変更した。</p> <p>今後の再発防止策としては、流量変動に伴う全窒素等の放流水質を注視しながら適宜バックテスト等による水質確認を追加実施し、各系列の分配比率や反応槽のステップ流入比率の調整等の切り替えを適正に行う。</p>